

# 市制施行70周年 焼津市の未来を創る将来への投資

## 代表 質問



いけがや かず まさ  
凌雲の会 池谷 和正

### 長期的な財政見通し

**Q** 今後も大型の施設建設等が控えているが、財政についてどのように考えているのか伺う。

**A** 令和2年度からの施設建設については、これまでの基金積立や、合併推進債の活用により、後年度の財政負担が大きくなるらないよう計画的に準備をしてきた。また、公共施設マネジメントに基づく焼津体育館などの施設整備については、民間のノウハウなどの活用や、交付税措置のある有利な起債の活用などを検討していく。更に後年度の起債の償還に備える為、令和元年度11月補正で9億円余りの減債基金の積立を行うなどの対応により、中長期的な財政の厳しさはあるが、令和2年度以降についても安定的な行財政運営が可能だと見込んでいる。



建設が進む新庁舎の完成イメージ

### サクラエビとサバの不漁対策

**Q** 令和2年度、新たな不漁支援事業など予算措置について伺う。

**A** 市はサクラエビとサバの不漁対策は大変重要で喫緊の課題と捉えており、今回の不漁を受けて創設した緊急融資制度で資金を借入れた漁業者や、加工業者に対し利子補給を行う。また漁業者が県と連携して行う漁場調査の経費も一部補助を行う。今後関係者の皆様と一丸となって不漁対策に取り組んでいく。

### 新型コロナウイルス対策

**Q** 新型コロナウイルス対策では市民の健康と安全の確保の為、市として感染予防の啓発以外に何か考えているのか伺う。

**A** 現在全国的にマスクが不足している為、医療機関・介護施設・障害福祉に係わる施設や事業所に対して、市が備蓄しているマスクを配布していきたいと考えている。

**Q** 配慮が必要な子どもたちへの対応について伺う。

**A** 小・中学生を含めていろいろな面で配慮を要する子どもたちについて、この臨時休校中、保護者の皆様は生活面のことや学習面などについて心配があれば、とにかく学級担任や学年主任へ相談をしてもらいたいと考えている。いつも学校と家庭とが連携をしながら子どもたちを見守っていききたいと考えている。



## 市民の困難な状況を受けとめ、消費税を5%に戻すことを国へ働きかけて！



日本共産党市議会議員団 ふかだ ゆりこ 深田百合子

**Q** 中小企業・小規模事業所は、台風第19号、消費税10%、加えて

新型コロナウイルス感染症拡大と、次から次へと困難に見舞われ、危機的状況に陥っている。

**A** いくら日銀が市場にお金を流しても困っている業者には回らない。まずは消費税を5%に戻すことを国に上げていただきたい。消費税に係る施策については国の施策である。

**基金11億円で国保税引き下げを**

**Q** 所得200万円以下の世帯の子

ども1,305人の均等割を1人5千円軽減することに必要な予算は652万5千円で、基金の僅かな金額である。子育て支援として対象世帯の均等割軽減の実施を。

**A** 今年度の2月補正予算案で約5千7百万円、令和2年度当初予算案では約2億3千6百万円を基金より充当する予定である。高齢化と医療の高度化による1人当たりの医療費の増加や被保険者

数の減少などにより今後も不足が見込まれる。子どもの均等割軽減の措置は国の施策として行うべきであり引き続き市長会などを通して働きかけていく。

**Q** 資産割廃止：いつから基金を活用し段階的に廃止するのか。

**A** 基金の状況や他市の動向等を参考に総合的に検討していく。

**Q** いつ総合的に判断するのか。

**A** 県の運営方針では2020年度までに十分検討、市町で協議することは示されている。

**子どもの健康を守るために小学校給水管復旧工事のやり直しを**

**Q** ある小学校では漏水による給水

停止から56日後の2月18日に水道が復旧した。しかし復旧後の給水管は夏場80℃以上にもなる金属屋根の上に配管されている。28日に水道水の残留塩素濃度を5分おきに測定したところ、残留塩素濃度はゼロが続ぎ、塩素が水質基準の0.1mg/Lになるまで15

分もかかっていた。子どもたちの健康上よくないと思うが、いかがか。

**A** 塩素濃度は工事により利用停止していた関係で少なくなっていたと思われるが、学校の方でも水質検査をしているので、そちらの検査結果を見た上で今後また判断していく。

**Q** 復旧工事は、水道局から体育館前

の市道からの直接給水が提案されていたが、屋根から地下道経由という工法で工事が行われた。子どもたちの安全を第一に考え、緊急に工法の再検討や工事のやり直しを検討していただきたい。

**A** もう一度現場を見て、改善する必要があるればその方法にしたい。



屋根の上を通した給水管

# 市長施政方針 令和2年度予算編成について



公明党議員団 鈴木 浩己

Q 新年度当初予算案は過去最大の

586億8,700万円の規模となり、未来に向けた投資と人口減少問題に果敢に挑戦していくことを力強く推進する予算編成とされている。

第2期焼津未来創生総合戦略の基本目標の達成につながる取り組みや令和という新たな時代を迎え、新しい焼津市のための優先課題に対応していくと伺っています。重点取り組みの基盤となる将来への投資事業の主な取り組みについて伺う。

A 特に雇用と子育ての分野を中心に重点的に取り組みを進めていきたいと考えています。具体的には、企業誘致の推進や創業、事業承継への支援、U・I・Tの促進のほか、結婚へ向けた出会いの場の提供やターントクルこども館の整備などに取り組んでいく。

この他、人口減少社会においても、地域で支え合い、心豊かな暮らしを実現するため、新元氣世代プロ

ジェクトを進めることとしており、令和2年度には生きがいづくりのための趣味クラブの開設や新元氣世代の皆様が必要とする健康づくりや就労、生涯学習などの情報を一元化して発信するホームページを整備していく。

## 健全財政の維持に向けての取り組みを伺う

Q 社会保障制度の拡充により義務的経費のうち扶助費の伸びが著しく、その一方で投資的経費は減少傾向にあり、今後この傾向が続くことが予想される。また、ここ数年、地方債残高が増加傾向であり、基金残高は減少傾向にある。これから将来にわたり、建物系公共施設と土木インフラの更新や志広組関連施設の更新による分担金の増額など多額の財政負担が想定される。

こうしたことから、今後より一層の財政規律の堅持が求められるが、健全財政の維持に向けての取

り組みについて伺う。

A 人口減少、少子高齢化に対応するための社会保障関連経費の大幅な増加や公共施設の老朽化に伴う施設更新などに多額な財政需要が見込まれていることから毎年、中長期の見直しを立てた上で予算編成を行っている。

今後も第6次総合計画に基づく事業の推進により、焼津市のための優先課題を解決するとともに財政規律の堅持と行政評価の手法により事業効果や事業の緊急性、優先度を検討し、効果的で効率的な行政運営に努めていく。



令和2年度スローガン「健」